

赤十字活動資金のご協力方法

主に、自治会や町内会などを通じた協力をお願いしておりますが、その他の方法(口座振替・インターネット等)でもご協力いただけます。
※国内災害義援金は、全額を被災地の自治体にお送りし、市区町村を通じて被災された方に届けられます。義援金が日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。



日赤ぎふ 2023年度

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



遺産・相続財産などのご寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。
日本赤十字社岐阜県支部では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等、お香典からのご寄付を承っております。
※パンフレットをご希望の方は日本赤十字社岐阜県支部までご連絡ください。



税制上の優遇措置

日本赤十字社に対して一定額以上の寄付(会費、寄付金)をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。



活動資金に対する表彰

赤十字活動資金に多額のご協力をいただいた場合は、次のとおり表彰制度を設けております。
※寄付者のご意向を確認の上、個人・法人に贈呈いたします。

日本赤十字社の表彰

- 銀色有功章** … 20万円以上50万円未満の活動資金へのご協力
- 金色有功章** … 50万円以上の活動資金へのご協力
- 社長感謝状** … 金色有功章受章後、50万円以上の活動資金へのご協力



※寄付による表彰の他、ボランティア活動等の表彰もございます。

国の表彰

※同一寄付で、厚生労働大臣表彰と紺綬褒章を同時に申請することはできません。

- 厚生労働大臣感謝状** … 同一年度内に 個人100万円以上、法人300万円以上の活動資金へのご協力
- 紺綬褒章** … 個人500万円以上、法人1,000万円以上の活動資金へのご協力
※分納の場合は、初回寄付の前に、予め分納のご意志をお伝えいただく必要があります。



厚生労働大臣感謝状

紺綬褒章 (個人のみ)

県内の赤十字施設



日本赤十字社岐阜県支部
岐阜市茜部中島2-9
TEL:058-272-3561



岐阜赤十字病院
岐阜市岩倉町3-36
TEL:058-231-2266



高山赤十字病院
高山市天満町3-11
TEL:0577-32-1111



岐阜県赤十字血液センター
岐阜市茜部中島2-10
TEL:058-272-6911



【お問合せ】 **日本赤十字社 岐阜県支部** Japanese Red Cross Society 又は、市町村役場・社会福祉協議会の日赤窓口へどうぞ

赤十字は、動いている!

+ SAVE365

知らなかった!
赤十字は、災害が起きた時に駆けつけるだけじゃないんだ。
365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けているんだね。
災害に備えた訓練、知識や技術の普及、
物資の整備、医療現場や海外での活動などなど、
すべてが人を救うことにつながっている。
このかけがえのない日常を支える赤十字の日々の活動を、
私が伝えていきます。



(令和5年度赤十字運動月間ポスター)

県民の皆さまへ

日頃より県民の皆さまには日本赤十字社の活動に対し、格別のご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。
日本赤十字社では、災害救護活動や医療・血液事業をはじめ、救急法等の講習普及、ボランティアや次代を担う青少年の育成などの活動を展開しているほか、コロナ禍においては赤十字病院を中心に新型コロナウイルス感染症の治療および感染拡大防止のための活動に取り組んでまいりました。また、海外に目を転じますと、昨年2月に勃発したウクライナ人道危機をはじめ、多くの国と地域で起こっている紛争や自然災害で苦しむ人々に対し、医療支援や物資の提供、離散家族の安否調査など多岐にわたる活動を実施してまいりました。

これらの活動は、ご寄付やボランティア活動など、困っている人を助けたいという皆さまの利他的なお気持ちによって支えられております。今後も継続的な事業を展開するため、皆さまの温かく力強いご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

日本赤十字社岐阜県支部 支部長 古田 肇

赤十字の活動は、皆さまからお寄せいただく「活動資金」によって支えられています。

国際活動

誰も取り残さない。紛争からも飢餓からも。

詳細情報は
こちらから



災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークを活かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組めます。



©Annalisa Ausilio/Italian Red Cross



©Amanuel Silashi/IFRC

医療事業

地域医療を支える高山・岐阜の両赤十字病院は創立100周年

健康の回復・維持や大切ないのちを救うため、地域のニーズに合った医療の提供に努めます。また、有事の際は、災害拠点病院として迅速な医療救護活動を行います。



岐阜赤十字病院



高山赤十字病院

新型コロナウイルス感染症対応

全国の赤十字病院を中心に新型コロナウイルス感染症の治療および感染拡大防止のための活動に取り組んでいます。

医師・看護師を中心に治療にあっている赤十字病院だけでなく、コロナまん延下での災害救護や安定的な血液の確保など、活動の内容は多岐にわたっています。



血液事業

JR岐阜駅アクティブGに献血ルームをオープン

病気の治療などで輸血を必要とする沢山の尊い命を救うため、献血を受け付け、24時間体制で安全な血液製剤を医療機関へ届けています。

※病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うための献血にご協力をお願いします。



青少年赤十字

岐阜県の小学校、中学校、特別支援学校は加盟率100%

世界の平和と人道の実現のため、未来を担う子供たちが実践活動を通して、自らが「気づき、考え、実行する」力を育んでいます。

「青少年赤十字加盟校」(令和4年12月末現在)
幼・保育園……59園 義務教育学校……4校
小学校……359校 高等学校……47校
中学校……182校 特別支援学校……23校



▲詳細情報は
こちらから

青少年赤十字文庫を560校に寄贈

県内の小学校、中学校、特別支援学校に、青少年赤十字活動の理解を深めるとともに、読書活動を応援するため図書を寄贈しました。



赤十字ボランティア

「困っている、苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを持つ方々が、その思いを結集し、県内で様々な赤十字活動を行います。



▲詳細情報は
こちらから



地域奉仕団 42団 8,102人
青年奉仕団 2団 10人
特殊奉仕団 7団 165人
(令和4年6月1日現在)

看護師等の教育

赤十字精神に基づき国際人道法や災害看護を学び、豊かな人間性と看護に関する幅広い知識・能力を備えた人材を育成します。



国内災害救護

高山・岐阜赤十字病院に計8班を常時編成

災害時に必要とされる救護業務を迅速に行うため、訓練や研修を通じた研鑽や人材育成の他、救援物資の整備や市町村への配備等を行い、有事の際には、いち早く被災地での活動が行えるように平時から体制を整えています。



▲詳細情報は
こちらから



県内施設合同災害訓練の様子▶

救急法等の講習

身近な人を救うため、とっさの手当や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行っています。



▲詳細情報は
こちらから

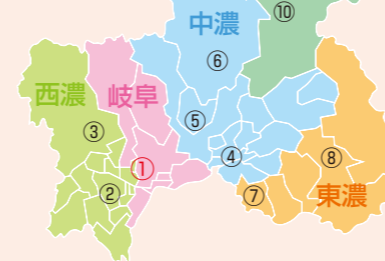


【講習の種類】

- 救急法
- 水上安全法
- 幼児安全法
- 健康生活支援講習
- 防災セミナー

災害への備え

いち早く被災者を支援できるよう、県内10カ所に救援物資備蓄倉庫を設置しているほか、県内市町村へ災害救護に必要な資機材等を整備しています。



＜備蓄倉庫設置場所＞

- 岐阜圏域
①日本赤十字社岐阜県支部
- 西濃圏域
②西濃総合庁舎敷地内
③揖斐総合庁舎敷地内
- 中濃圏域
④可茂総合庁舎敷地内
⑤中濃総合庁舎敷地内
⑥郡上総合庁舎敷地内
- 東濃圏域
⑦東濃西部総合庁舎敷地内
⑧恵那総合庁舎敷地内
- 飛騨圏域
⑨飛騨総合庁舎敷地内
⑩下呂総合庁舎敷地内

【救援物資】

| | | |
|--------|--------|----------|
| | | |
| 毛布 | 緊急セット | 安眠セット |
| | | |
| ブルーシート | タオルケット | 災害用移動炊飯器 |
| | テント | |

【備蓄数】

- 毛布……………8,377枚
- 緊急セット……………1,327セット
- 安眠セット……………1,809セット
- ブルーシート……………4,340枚
- タオルケット……………2,930枚
- テント……………352張
- 簡易テント……………18張
- 災害用移動炊飯器……………325台

(令和4年11月末現在)

【災害救援車両】

災害救護業務のほか、平時においても福祉など赤十字活動のため、県内全市町村に82台(令和4年11月末現在)の災害救援車両を配備しています。



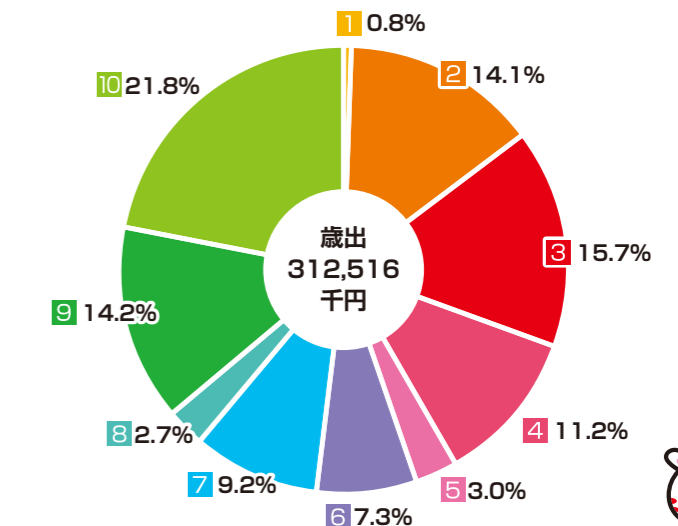
令和3年度決算報告 あたたかいご支援・ご協力ありがとうございます。

【歳入】

| | |
|----------|-----------|
| 会費・寄付金収入 | 312,136千円 |
| その他収入 | 8,920千円 |
| 前年度繰越金 | 60,077千円 |
| 合計 | 381,133千円 |

【歳出】

| | |
|---------------------|-----------|
| 1 国際活動 | 2,350千円 |
| 2 災害救護や災害への備え | 44,148千円 |
| 3 市町村の赤十字活動 | 48,989千円 |
| 4 赤十字奉仕団や青少年赤十字の活動 | 34,917千円 |
| 5 救急法等講習普及 | 9,520千円 |
| 6 赤十字病院や血液センターの施設整備 | 22,814千円 |
| 7 赤十字思想の普及等 | 28,648千円 |
| 8 救護看護師の養成 | 8,418千円 |
| 9 広域の赤十字活動 | 44,463千円 |
| 10 赤十字活動の運営管理 | 68,249千円 |
| 合計 | 312,516千円 |



※歳入歳出差引額68,617千円は令和4年度に繰り越しました。

